ひと、くらし、みらいのために
厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

長野労働局　**Press Release**
～安心して働ける信州のために～

長野労働局発表
(5－82)
令和6年3月29日

担当
職業安定部職業安定課
課長　松本　賢一郎
課長補佐　田中　正樹
労働市場情報官　岡部　瑞穂
電話　026-226-0865

最近の雇用情勢
（令和6年2月分）

長野労働局(局長　久富(ひさどみ)　康生(やすお))は、令和6年2月分の県内の雇用情勢をとりまとめました。

○　令和6年2月の有効求人倍率(季節調整値)は1.35倍で、前月を0.02ポイント下回り、2か月ぶりの低下となった。
○　有効求人数(季節調整値)は45,172人で前月に比べ0.1%増加し、有効求職者数(同)は33,348人で前月に比べ1.2%増加した。
○　新規求人倍率(季節調整値)は2.24倍となり、前月を0.03ポイント下回った。

○ 2月の新規求人数（実数値）は16,511人となり、前年同月比で10.6%減少した。
○ 産業別（大分類）にみると、前年同月比で増加した業種は、Ｉ卸売業，小売業、Ｏ教育，学習支援業であり、その他の業種では前年同月比で減少した。
○ 2月の新規求職者数（実数値）は7,674人となり、前年同月比で2.3%減少した。
新規常用求職者（4,622　人）のうち、「事業主都合離職者」は　437　人となり、前年同月比で3.3%増加し、「自己都合離職者」は1,552人となり、前年同月比で2.6%減少し、「在職者」は2,288人となり、前年同月比で2.0%減少した。
○ 2月の就職件数は2,632件となり、前年同月比で6.7%増加した。
このうち常用就職件数は1,278件となり、前年同月比で4.1%増加した。
パートタイム就職件数は1,292件となり、前年同月比で10.7%増加した。

雇用情勢は、堅調に推移している。
ただし、物価上昇等が雇用に与える影響を注視する必要がある。

～ 用 語 の 解 説 ～

〔 一　般 〕　一般とは常用及び臨時・季節を合わせたものをいう。

〔 常　用 〕　常用とは、雇用契約において雇用期間の定めがない、または4か月以上の雇用期間が定められているもの（季節労働を除く）をいう。

〔 パ ー ト 〕　一週間の所定労働時間が同一の事業所に雇用されている、通常の労働者の一週間の所定労時間に比べて短い就業形態をいう。

〔臨 時 ・季 節 〕　臨時とは、雇用契約において1か月以上4か月未満の雇用契約期間が定められている仕事をいう。

季節とは、季節的な労働需要に対し、または季節的な余暇を利用して一定の期間（4か月未満、4か月以上の別を問わない）を定めて就労する仕事をいう。

〔求 職 者 数 〕　新規求職申込件数とは、公共職業安定所でその月のうちに新たに受けた求職申込件数をいう。

月間有効求職者数とは「前月から繰越された有効求職者数」と当月の「新規求職申込件数」の合計数である。

〔 求　人　数 〕　新規求人数とは、その月のうちに新たに受付けた求人数（採用予定人員）をいう。

月間有効求人数とは「前月から繰越された有効求人数」と当月の「新規求人数」の合計数である。

〔就 職 件 数 〕　自安定所の有効求職者に対して、全国のハローワークで受理した求人を自安定所の紹介により就職が確認された件数。したがって、自己就職・縁故就職等は除かれる。

〔求 人 倍 率 〕　求職者の１人あたり、求人数がどれだけあるか、その割合をみるものである。

算出の方法は、次のとおりである。

$$\text{新規求人倍率} = \frac{\text{新規求人数}}{\text{新規求職者数}} \qquad \text{有効求人倍率} = \frac{\text{月間有効求人数}}{\text{月間有効求職者数}}$$

〔 正　社　員 〕　パートタイムを除く常用のうち、勤め先で正社員・正職員などと呼称される正規労働者をいう。

〔季 節 調 整 値 〕　月別の時系列には、天候や社会習慣等の影響により毎年季節的に繰り返される一年周期の変動（季節変動）が含まれていることがあり、そのような系列をみるだけでは変動要因が判断できない場合もある。このような季節変動を有する系列の分析を行う際には、季節変動を除去してから、数値の比較を行う必要がある。

この季節変動の除去を「季節調整」と言い、これにより、季節調整値（季節調整された数値）は、前月との比較の際に使用し、実数値（季節調整していない数値）は、前年同月との比較の際に使用する。

※ハローワークインターネットサービスの機能拡充に伴い、令和３年９以降の数値には、ハローワークに来所せず、オンライン上で求職登録した求職者数や、求職者がハローワークインターネットサービスの求人に直接応募、就職が確認された件数が含まれる。

最 近 の 雇 用 情 勢

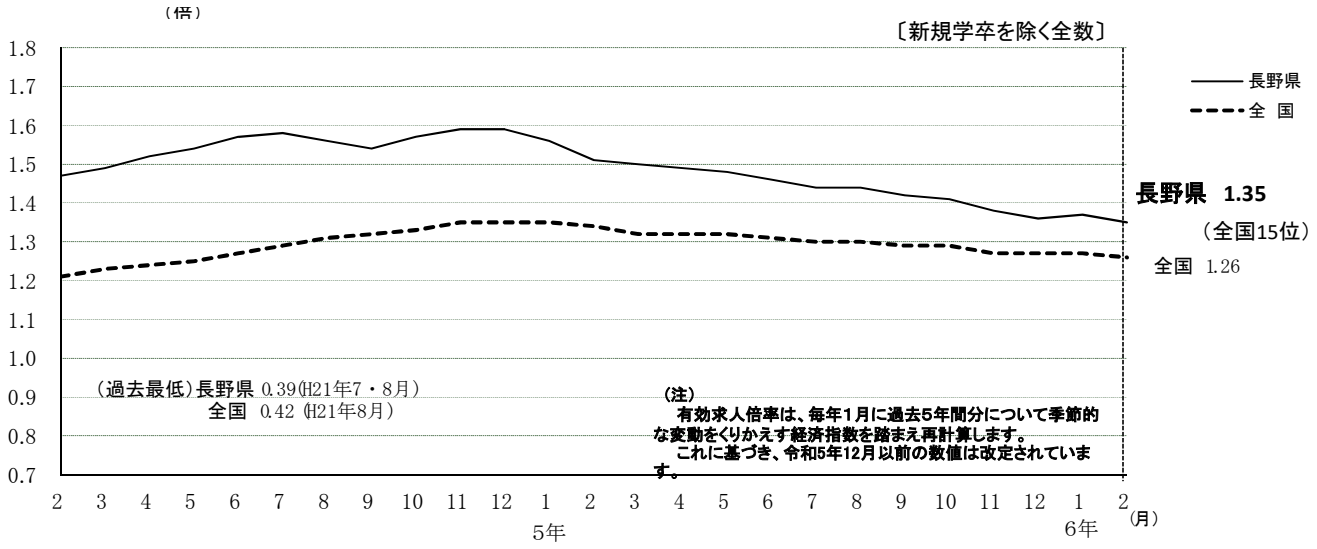
〔令和６年２月分〕

1 求人・求職の状況

① 有効求人倍率(季節調整値)の推移

令和6年2月の有効求人倍率(季節調整値)は1．35倍となり、前月より0．02ポイント下回った。

	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
最近年	1.51	1.50	1.49	1.48	1.46	1.44	1.44	1.42	1.41	1.38	1.36	1.37	1.35
前 年	1.47	1.49	1.52	1.54	1.57	1.58	1.56	1.54	1.57	1.59	1.59	1.56	1.51



※ 月間有効求人・求職(季節調整値)の推移

	5年 2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	6年 1月	2月
月間有効求人数	48,919	48,789	48,308	47,515	46,774	46,452	46,294	45,855	45,418	44,814	44,461	45,137	45,172
月間有効求職者数	32,405	32,433	32,419	32,130	32,102	32,215	32,141	32,199	32,302	32,516	32,670	32,951	33,348

② 地域別有効求人倍率 (実数値:以下同じ)

2月の有効求人倍率を地域別に見ると、全ブロックで前年同月を下回った。また、安定所別では篠ノ井所、木曽福島所、大町所で前年同月を上回り、長野所では同水準となった。

〔新規学卒を除く全数〕

地域別 (前年同月比ポイント) 《前月》	北 信 1.37 (▲0.13) 《1.41》				東 信 1.42 (▲0.16) 《1.50》		中 信 1.40 (▲0.24) 《1.46》			南 信 1.37 (▲0.20) 《1.40》		
安定所別	長野	篠ノ井	飯 山	須坂	上 田	佐 久	松 本	木曽福島	大 町	飯田	伊那	諏 訪
全 数	1.47	1.34	1.16	1.15	1.38	1.45	1.38	1.45	1.54	1.39	1.32	1.39
《前月》	《1.53》	《1.34》	《1.29》	《1.13》	《1.45》	《1.53》	《1.45》	《1.39》	《1.57》	《1.47》	《1.30》	《1.42》
(前年同月比ポイント)	(0.00)	(0.01)	(▲0.73)	(▲0.44)	(▲0.16)	(▲0.16)	(▲0.29)	(0.01)	(0.06)	(▲0.25)	(▲0.28)	(▲0.10)
うち常用	1.28	1.32	1.12	1.04	1.31	1.49	1.23	1.43	1.45	1.34	1.16	1.30
《前月》	《1.32》	《1.31》	《1.21》	《1.04》	《1.35》	《1.61》	《1.25》	《1.45》	《1.45》	《1.39》	《1.16》	《1.33》
(前年同月比ポイント)	(0.00)	(0.01)	(▲0.62)	(▲0.44)	(▲0.10)	(▲0.18)	(▲0.20)	(0.01)	(0.04)	(▲0.22)	(▲0.23)	(▲0.13)

＊「うち常用」とはパート常用を含み、臨時・季節を除く。

③ 新規求人数の推移

2月の新規求人数は、前年同月比で10.6%減少した。うち常用は8.0%減少し、うちパートは11.6%減少した。

年月	5年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	6年1月	2月
全数	18,465	16,946	16,475	15,533	15,391	16,255	15,539	15,748	16,918	15,079	14,931	18,082	16,511
（前年同月比）	(8.2)	(▲4.6)	(▲5.4)	(▲5.5)	(▲12.5)	(▲6.2)	(▲8.3)	(▲5.9)	(▲11.2)	(▲14.4)	(▲7.4)	(▲5.4)	(▲10.6)
うち常用	9,981	9,211	9,427	8,778	8,536	9,343	9,166	8,492	9,397	8,857	8,159	9,496	9,182
（前年同月比）	(7.5)	(▲2.7)	(▲6.9)	(▲5.5)	(▲9.3)	(▲7.5)	(▲4.1)	(▲7.5)	(▲10.6)	(▲10.6)	(▲8.7)	(▲5.1)	(▲8.0)
うちパート	7,429	6,888	6,148	5,825	6,096	6,039	5,364	6,038	6,205	5,374	5,721	7,416	6,564
（前年同月比）	(12.7)	(▲2.7)	(▲3.1)	(▲6.3)	(▲13.1)	(▲2.1)	(▲13.3)	(▲6.6)	(▲10.5)	(▲18.5)	(▲6.6)	(▲3.6)	(▲11.6)
常用のうち正社員	7,456	7,188	7,345	6,860	6,851	7,514	7,400	7,008	7,651	7,123	6,671	7,619	7,163
（前年同月比）	(5.9)	(▲3.0)	(▲5.4)	(▲3.4)	(▲7.9)	(▲3.2)	(0.4)	(▲4.5)	(▲6.4)	(▲4.9)	(▲6.3)	(▲1.8)	(▲3.9)
全数に占める正社員の割合	40.4	42.4	44.6	44.2	44.5	46.2	47.6	44.5	45.2	47.2	44.7	42.1	43.4
正社員有効求人倍率	1.17	1.11	1.09	1.09	1.10	1.13	1.16	1.17	1.16	1.18	1.19	1.16	1.10

※全数には臨時・季節を含み、うち常用はパートを含まない。

④ 産業別新規求人の状況

2月の産業別（大分類）の新規求人数は、前年同月比でI「卸売業，小売業」、O「教育，学習支援業」で前年同月を上回り、それ以外の産業は前年同月を下回った。

産業別	新規求人数（人）	前月比（%）	前年同月比（%）	産業別	新規求人数（人）	前月比（%）	前年同月比（%）
全数	16,511 (6,564)	▲8.7 (▲11.5)	▲10.6 (▲11.6)	G 情報通信業	153 (29)	▲15.5 (20.8)	▲15.9 (26.1)
D 建設業	1,342 (90)	▲5.9 (▲23.1)	▲2.5 (▲14.3)	H 運輸業，郵便業	642 (156)	▲22.7 (▲25.7)	▲9.3 (▲20.4)
E 製造業	2,649 (554)	2.8 (▲9.9)	▲13.0 (▲22.1)	I 卸売業，小売業	2,000 (1,131)	2.0 (12.5)	6.3 (11.2)
09 食料品製造業 10飲料・たばこ・飼料製造業	485 (192)	▲8.7 (▲29.9)	▲18.2 (▲27.5)	J 金融業，保険業	77 (22)	10.0 (120.0)	▲1.3 (144.4)
14 パルプ・紙・紙加工品製造業	23 (7)	21.1 (40.0)	▲45.2 (▲12.5)	K 不動産業，物品賃貸業	188 (65)	▲19.7 (▲43.0)	▲16.1 (▲43.5)
15 印刷・同関連業	56 (15)	64.7 (50.0)	60.0 (150.0)	M 宿泊業，飲食サービス業	1,152 (704)	▲18.4 (▲25.3)	▲19.7 (▲19.8)
18 プラスチック製品製造業（別掲を除く）	133 (22)	▲21.8 (▲40.5)	▲13.1 (▲35.3)	76 飲食店	371 (264)	▲28.5 (▲27.9)	▲33.2 (▲26.7)
24 金属製品製造業	225 (41)	▲6.6 (▲28.1)	▲16.0 (▲2.4)	N 生活関連サービス業，娯楽業	559 (333)	▲25.1 (21.5)	▲21.6 (▲8.0)
25 はん用機械器具製造業	233 (14)	52.3 (▲33.3)	▲20.7 (▲36.4)	78 洗濯・理容・美容・浴場業	190 (127)	▲51.0 (▲18.1)	▲33.6 (▲24.4)
26 生産用機械器具製造業	227 (18)	▲6.2 (5.9)	▲2.6 (▲41.9)	O 教育，学習支援業	543 (314)	78.6 (62.7)	8.8 (12.1)
27 業務用機械器具製造業	103 (20)	▲14.2 (▲44.4)	▲34.4 (▲55.6)	P 医療，福祉	2,838 (1,358)	▲11.6 (▲10.4)	▲10.6 (▲12.9)
28電子部品・デバイス・電子回路製造業	277 (47)	60.1 (30.6)	▲27.5 (▲40.5)	85 社会保険・社会福祉・介護事業	1,845 (937)	▲15.5 (▲14.2)	▲15.3 (▲20.5)
29 電気機械器具製造業	381 (116)	▲12.4 (152.2)	19.8 (45.0)	R サービス業（他に分類されないもの）	2,524 (789)	▲15.3 (▲9.5)	▲18.5 (▲12.5)
30 情報通信機械器具製造業	43 (6)	▲27.1 (▲66.7)	▲23.2 (▲50.0)	91 職業紹介・労働者派遣業	937 (148)	▲16.0 (51.0)	▲34.2 (▲15.4)
31 輸送用機械器具製造業	192 (16)	47.7 (▲15.8)	3.2 (▲54.3)	その他の産業	1,844 (1,019)	▲14.2 (▲33.1)	▲10.2 (▲19.8)

（ ）はパートで内数

注）「その他の産業」には、A農業，林業、B漁業、C鉱業，採石業，砂利採取業、F電気・ガス・熱供給・水道業、L学術研究，専門・技術サービス業、Q複合サービス事業、S公務（他に分類されるものを除く）、T分類不能の産業を含む。

⑤ 新規求職者の推移

2月の新規求職者数は前年同月比で2.3%減少した。うち常用は2.4%減少し、うちパートは1.9%減少した。

年月	5年 2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	6年 1月	2月
全数	7,856	7,766	9,057	7,306	6,553	6,003	6,289	6,447	6,978	6,216	6,173	8,030	7,674
（前年同月比）	(8.7)	(▲2.1)	(▲1.0)	(▲0.6)	(▲3.3)	(2.7)	(0.4)	(▲0.0)	(7.4)	(4.1)	(5.8)	(5.6)	(▲2.3)
うち常用	4,734	4,725	4,838	4,264	3,984	3,793	3,971	3,946	4,267	3,765	3,389	4,754	4,622
（前年同月比）	(6.6)	(▲1.4)	(▲1.8)	(1.4)	(▲5.8)	(1.5)	(▲0.7)	(▲0.3)	(8.2)	(5.7)	(5.4)	(4.1)	(▲2.4)
うちパート	3,079	2,979	4,137	3,002	2,542	2,192	2,300	2,490	2,686	2,240	2,089	3,064	3,019
（前年同月比）	(12.2)	(▲3.0)	(0.6)	(▲3.1)	(1.2)	(4.5)	(1.9)	(0.5)	(5.9)	(1.5)	(10.1)	(9.9)	(▲1.9)

※ 全数には、臨時・季節を含み、うち常用にはパートは含まない。

⑥ 新規常用求職者の態様別状況

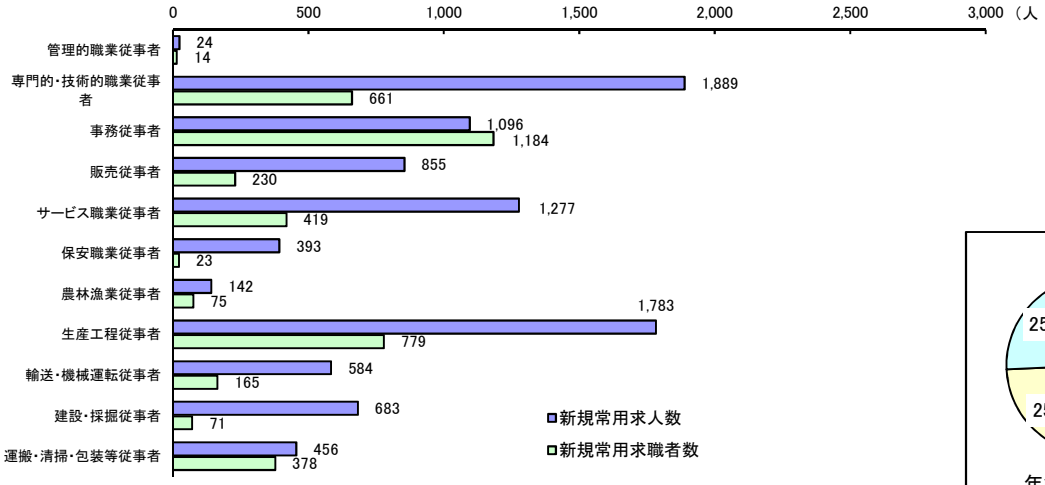
2月の新規常用求職者の状況を態様別にみると、前年同月比で在職者は2.0%の減少、離職者は1.4%の減少、無業者は14.5%の減少となった。離職者のうち、事業主都合は3.3%の増加となった。

年月	5年 2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	6年 1月	2月
常用求職者	4,734	4,725	4,838	4,264	3,984	3,793	3,971	3,946	4,267	3,765	3,389	4,754	4,622
（前年同月比）	(6.6)	(▲1.4)	(▲1.8)	(1.4)	(▲5.8)	(1.5)	(▲0.7)	(▲0.3)	(8.2)	(5.7)	(5.4)	(4.1)	(▲2.4)
在職者	2,334	2,011	1,590	1,662	1,701	1,600	1,708	1,683	1,786	1,623	1,518	2,071	2,288
（前年同月比）	(4.7)	(▲5.9)	(1.0)	(5.2)	(▲7.0)	(▲1.8)	(1.7)	(0.1)	(13.5)	(6.6)	(11.2)	(2.3)	(▲2.0)
離職者	2,145	2,383	2,979	2,341	2,038	1,986	2,051	2,049	2,254	1,928	1,704	2,438	2,116
（前年同月比）	(8.2)	(4.2)	(▲1.0)	(0.5)	(▲3.9)	(4.7)	(▲1.6)	(0.8)	(5.8)	(3.8)	(1.2)	(4.5)	(▲1.4)
定年	70	106	204	77	67	64	69	65	75	61	61	85	66
（前年同月比）	(▲7.9)	(32.5)	(0.0)	(▲10.5)	(▲13.0)	(▲9.9)	(15.0)	(1.6)	(8.7)	(29.8)	(▲7.6)	(37.1)	(▲5.7)
事業主都合	423	456	679	464	433	397	349	366	485	420	416	530	437
（前年同月比）	(18.5)	(4.8)	(▲9.7)	(5.9)	(17.0)	(5.3)	(▲7.7)	(1.7)	(35.5)	(18.6)	(5.3)	(23.0)	(3.3)
自己都合	1,594	1,758	2,051	1,752	1,489	1,478	1,583	1,569	1,652	1,401	1,195	1,766	1,552
（前年同月比）	(7.1)	(2.4)	(2.4)	(▲0.2)	(▲7.3)	(5.6)	(▲0.6)	(0.6)	(0.1)	(▲0.8)	(0.8)	(▲0.4)	(▲2.6)
無業者	255	331	269	261	245	207	212	214	227	214	167	245	218
（前年同月比）	(11.4)	(▲10.1)	(▲21.6)	(▲11.5)	(▲11.9)	(▲1.4)	(▲9.4)	(▲12.3)	(▲4.6)	(18.9)	(▲0.6)	(17.2)	(▲14.5)

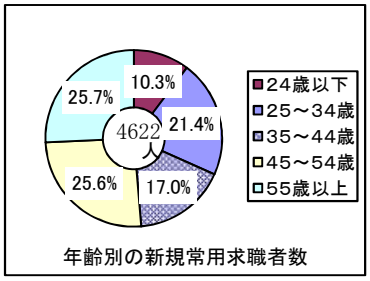
※ 離職者は、「前職雇用者」と「前職自営、その他」（表中では省略）に分けられる。
「前職雇用者」は、離職理由別に「定年」「事業主都合」「自己都合」「不明」（表中では省略）に区分される。
このため内訳の計と離職者数欄の数値は一致しない。
※ 無業者とは、家事、育児等従事者及び離職後1年を超えて求職活動をしていない者をいう。

⑦ 職業別の新規常用求人・求職 、年齢別の新規常用求職の状況

2月の新規求人・求職者数を職業別に対比してみると、「事務従事者」で求職者数が求人数を上回ったが、それ以外の職業では、求人数が求職者数を上回った。



※パートタイムを除く常用



平成21年12月改定の「日本標準職業分類」に基づく区分

⑧ 月間有効求人・求職（実数値）の推移

2月の月間有効求人数は前年同月比で9.0%減少し、月間有効求職者数は2.8%増加した。

年月	5年 2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	6年 1月	2月
月間有効求人数	51,297	50,868	47,899	46,111	45,158	44,783	45,233	45,722	46,048	45,690	44,887	45,972	46,685
（前年同月比）	(2.9)	(1.2)	(▲1.1)	(▲5.0)	(▲8.6)	(▲8.8)	(▲8.8)	(▲7.1)	(▲9.1)	(▲11.1)	(▲10.5)	(▲8.9)	(▲9.0)
月間有効求職者数	32,798	33,874	34,472	34,120	33,156	31,738	31,321	31,298	31,723	31,295	30,824	32,045	33,722
（前年同月比）	(0.1)	(0.2)	(0.2)	(▲1.3)	(▲1.2)	(▲0.6)	(▲0.9)	(▲0.4)	(1.6)	(2.5)	(4.4)	(4.2)	(2.8)

※ パートタイム、臨時・季節を含む全数

2 就職の状況

2月の就職件数は、前年同月比で6.7%増加した。うち常用は4.1%増加し、うちパートは10.7%増加した。

年月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	6年 1月	2月
全数	2,467	3,717	2,519	2,455	2,376	2,118	1,962	2,297	2,243	2,050	2,018	1,740	2,632
（前年同月比）	(2.9)	(▲0.9)	(0.6)	(▲4.7)	(▲9.3)	(▲5.1)	(▲5.9)	(▲1.8)	(4.7)	(▲3.1)	(7.9)	(▲2.4)	(6.7)
うち常用	1,228	1,729	1,210	1,167	1,193	1,036	1,060	1,182	1,145	1,064	978	921	1,278
（前年同月比）	(0.3)	(▲1.7)	(2.7)	(▲7.2)	(▲6.3)	(▲11.8)	(▲8.0)	(▲4.8)	(2.9)	(▲3.5)	(3.2)	(▲1.1)	(4.1)
うちパート	1,167	1,901	1,242	1,238	1,138	1,025	842	1,061	1,049	935	988	774	1,292
（前年同月比）	(6.7)	(▲0.1)	(▲0.6)	(▲1.1)	(▲11.6)	(2.8)	(▲2.4)	(1.7)	(10.0)	(▲0.6)	(15.4)	(▲2.3)	(10.7)

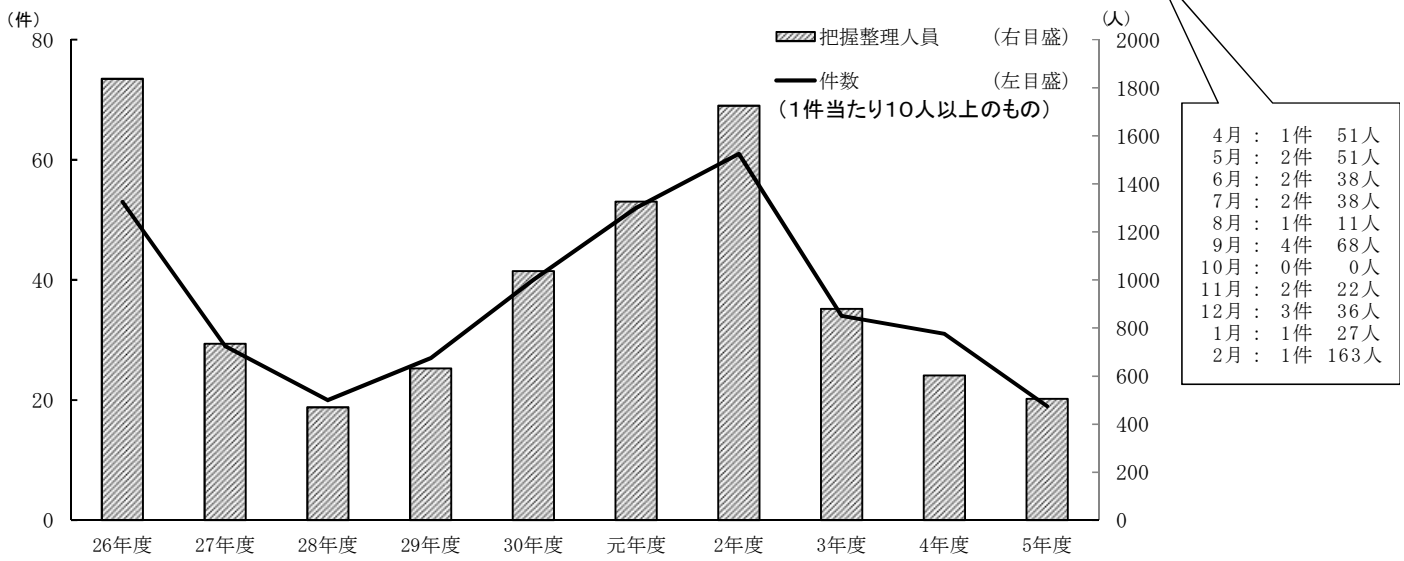
※ 全数には、臨時・季節を含み、うち常用にはパートは含まない。

3 人員整理の把握状況

2月中に把握した1件あたり10人以上の人員整理は、1件163人であった。
事業主都合による離職は424人で、前年同月を62.5%上回った。

①10人以上の人員整理把握状況の年度別推移

年度別	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	前年同期
件数	53	29	20	27	40	52	61	34	31	19	30
整理人数	1,837	734	470	632	1,037	1,326	1,725	880	603	505	592



② 事業主都合による離職の推移　　(雇用保険の被保険者資格喪失データ)

年月	5年 2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	6年 1月	2月
人　数	261	388	741	283	344	317	267	265	343	244	281	390	424
(前年同月比)	(▲11.5)	(66.5)	(11.6)	(14.1)	(54.3)	(3.6)	(9.4)	(39.5)	(1.5)	(▲14.7)	(61.5)	(7.7)	(62.5)

※ 特例被保険者(季節)を除く

(参考) 雇用保険の適用事業所・被保険者・失業等給付受給者の状況

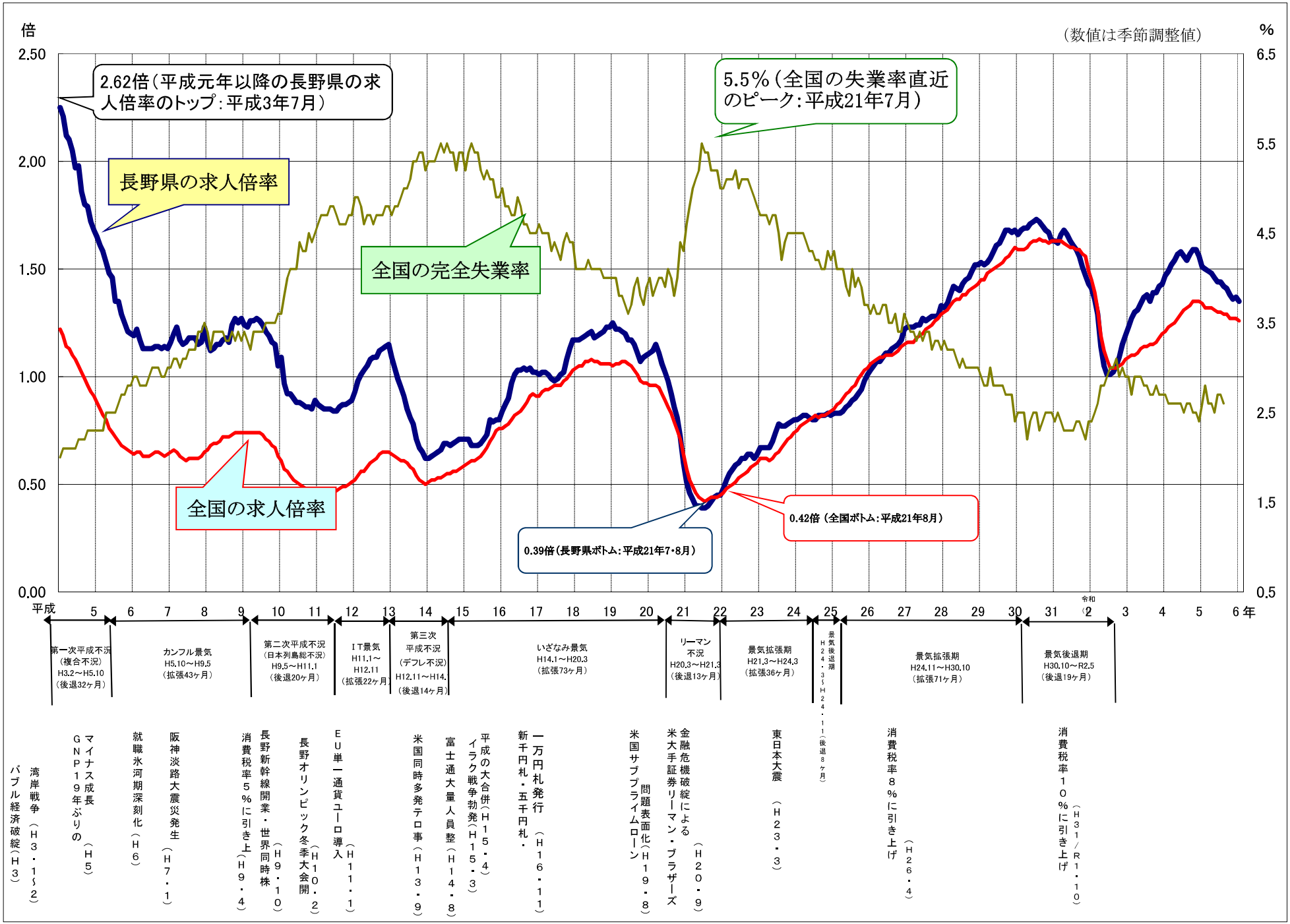
適用事業所数は、前年同月を0.02%下回った。被保険者数は639,275人で、前年同月を0.2%上回った。
失業等給付(基本手当)の受給者は6,405人で、前年同月を7.2%上回った。

年月	5年 2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	6年 1月	2月
事業所 月末現在数	38,124	38,140	38,121	38,127	38,148	38,179	38,213	37,903	37,967	38,005	38,032	38,075	38,115
(前年同月比)	(0.2)	(0.3)	(0.3)	(0.2)	(0.1)	(0.1)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(▲0.1)	(▲0.1)	(▲0.1)	(▲0.02)
資格取得数	5,641	6,912	16,820	16,850	7,691	7,370	6,407	6,341	7,200	6,642	5,651	6,078	5,753
資格喪失数	6,359	8,130	17,645	7,911	7,216	7,244	6,630	6,897	8,714	6,853	6,774	8,349	6,339
被保険者 月末現在数	638,228	636,736	636,166	645,024	645,372	645,372	645,494	645,145	643,631	643,374	642,185	639,896	639,275
(前年同月比)	(0.3)	(0.1)	(0.6)	(0.5)	(0.1)	(0.1)	(0.2)	(0.2)	(0.1)	(0.2)	(0.2)	(0.1)	(0.2)
基本手当 受給者実人員数	5,973	6,130	5,877	7,008	7,269	7,467	7,531	7,186	7,070	6,714	6,442	6,504	6,405
(前年同月比)	(0.4)	(2.2)	(5.1)	(9.1)	(4.6)	(4.3)	(2.0)	(2.3)	(8.7)	(8.1)	(6.3)	(6.3)	(7.2)

次回発表日　令和6年4月30日(火)

有効求人倍率・完全失業率の推移(令和6年2月分まで)

（長野労働局職業安定部）



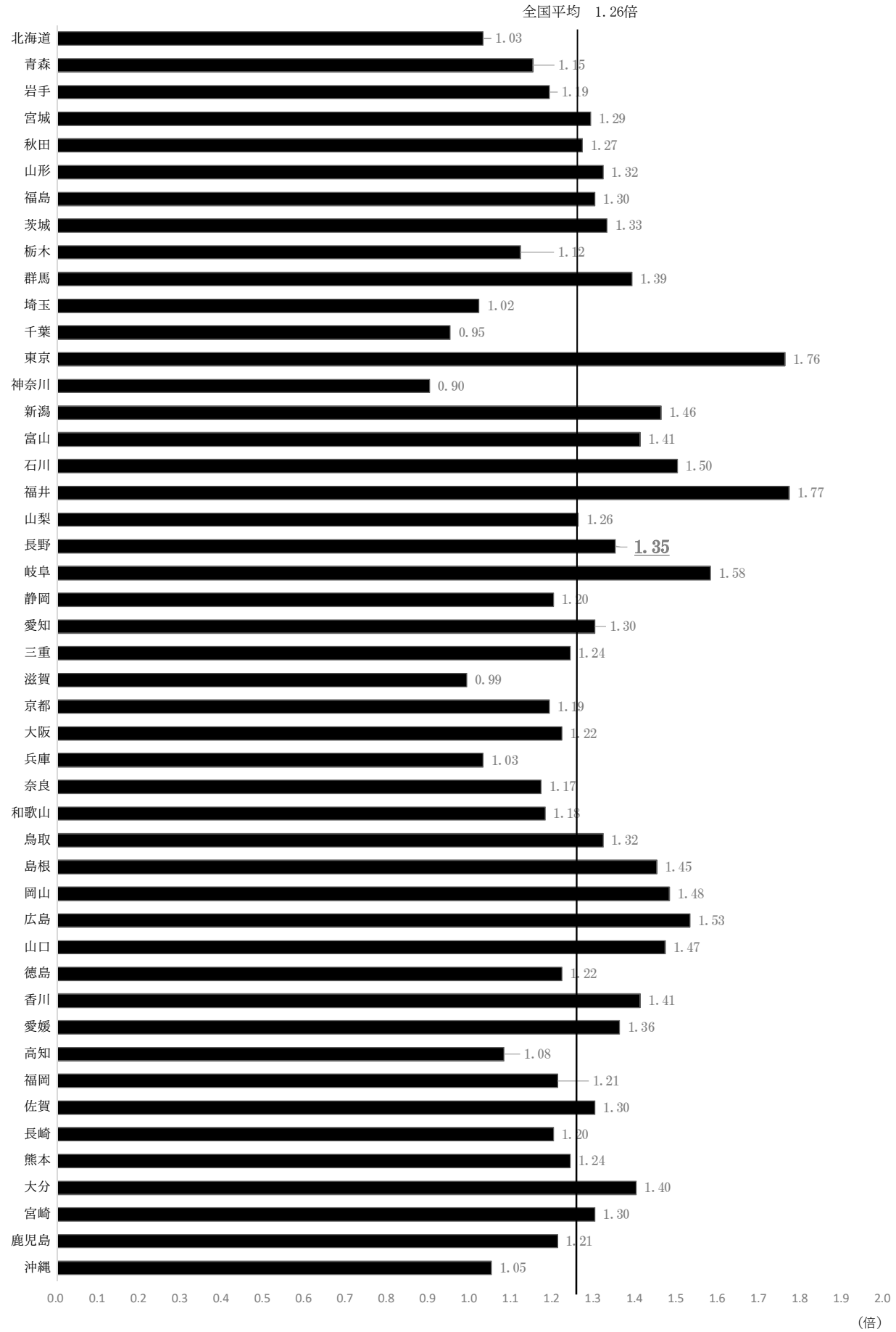
有効求人倍率・完全失業率の推移(令和6年2月分まで)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年平均	年度平均	景気の状況	トピックス
平成元年	1.97	1.98	2.04	2.09	2.07	2.12	2.05	2.13	2.19	2.23	2.25	2.25	2.11	2.19	バブル景気	消費税導入(4月)
	1.15	1.17	1.17	1.19	1.25	1.27	1.30	1.29	1.30	1.31	1.33	1.33	1.25	1.30		
(1989)	2.3	2.3	2.4	2.4	2.3	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	2.1	2.3	2.2		
平成2年	2.26	2.34	2.26	2.31	2.36	2.37	2.44	2.46	2.48	2.60	2.57	2.43	2.40	2.48	バブル景気	就職戦線、空前の超売手市場
	1.33	1.36	1.36	1.35	1.39	1.42	1.46	1.44	1.44	1.44	1.45	1.44	1.40	1.43		
(1990)	2.2	2.2	2.0	2.1	2.1	2.2	2.1	2.0	2.1	2.2	2.0	2.0	2.1	2.1		
平成3年	2.56	2.56	2.59	2.57	2.59	2.60	2.62	2.61	2.57	2.54	2.50	2.45	2.56	2.48		バブル経済破綻
	1.43	1.44	1.44	1.41	1.44	1.44	1.44	1.40	1.36	1.36	1.34	1.31	1.40	1.34	第一次平成不況	湾岸戦争(1～2月)
(1991)	2.0	2.1	2.2	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.0	2.1	2.1	2.1	2.1	(H3.2)	
平成4年	2.28	2.25	2.21	2.12	2.10	2.05	1.97	1.98	1.86	1.80	1.79	1.72	2.00	1.85		
	1.25	1.22	1.19	1.14	1.13	1.10	1.08	1.05	1.02	0.99	0.96	0.93	1.08	1.00		
(1992)	2.1	2.0	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.2	2.2	2.2	2.3	2.3	2.2	2.2		
平成5年	1.68	1.65	1.61	1.58	1.53	1.48	1.46	1.35	1.35	1.29	1.25	1.21	1.45	1.34	▼	GNP19年ぶりのマイナス成長
	0.91	0.88	0.85	0.82	0.80	0.76	0.74	0.72	0.70	0.68	0.67	0.66	0.76	0.71		
(1993)	2.3	2.3	2.3	2.3	2.5	2.5	2.5	2.5	2.6	2.7	2.7	2.8	2.5	2.6	カンフル景気(H5.10)	
平成6年	1.20	1.19	1.22	1.17	1.13	1.13	1.13	1.13	1.14	1.14	1.13	1.14	1.16	1.15		就職氷河期深刻化
	0.65	0.64	0.65	0.65	0.63	0.63	0.63	0.64	0.65	0.65	0.64	0.63	0.64	0.64		
(1994)	2.8	2.9	2.9	2.8	2.8	2.8	2.9	3.0	3.0	3.0	2.9	2.9	2.9	2.9		
平成7年	1.13	1.16	1.20	1.23	1.17	1.15	1.16	1.18	1.18	1.18	1.15	1.16	1.17	1.18		阪神淡路大震災発生(1月)
	0.64	0.65	0.66	0.65	0.63	0.62	0.61	0.62	0.62	0.62	0.62	0.63	0.63	0.64		
(1995)	3.0	3.0	3.1	3.1	3.0	3.1	3.1	3.2	3.2	3.2	3.4	3.4	3.2	3.2		
平成8年	1.23	1.16	1.12	1.13	1.15	1.15	1.17	1.18	1.16	1.24	1.27	1.25	1.19	1.21		
	0.65	0.66	0.68	0.69	0.69	0.70	0.72	0.72	0.72	0.73	0.74	0.74	0.70	0.72		
(1996)	3.5	3.4	3.2	3.4	3.4	3.4	3.4	3.3	3.3	3.4	3.3	3.4	3.4	3.3		
平成9年	1.27	1.24	1.23	1.26	1.26	1.27	1.26	1.24	1.21	1.19	1.16	1.15	1.23	1.17	▼	消費税率5%に引上げ(4月)
	0.74	0.74	0.74	0.74	0.74	0.74	0.74	0.73	0.71	0.70	0.68	0.67	0.72	0.69	第二次平成不況	長野新幹線開業(10月)
(1997)	3.3	3.4	3.3	3.2	3.4	3.4	3.4	3.4	3.5	3.5	3.5	3.5	3.4	3.5	(H9.5)	世界同時株安(10月)
平成10年	1.05	1.09	0.97	0.92	0.92	0.90	0.88	0.88	0.87	0.86	0.86	0.85	0.92	0.88		長野オリンピック冬季大会開催(2月)
	0.63	0.61	0.57	0.56	0.54	0.52	0.51	0.50	0.49	0.48	0.47	0.47	0.53	0.50		
(1998)	3.6	3.6	3.8	4.0	4.1	4.1	4.1	4.4	4.3	4.3	4.5	4.4	4.1	4.3	▼	
平成11年	0.89	0.87	0.86	0.85	0.85	0.85	0.84	0.84	0.86	0.87	0.87	0.88	0.86	0.88	IT景気(H11.1)	EU単一通貨ユーロ導入(1月)
	0.48	0.48	0.48	0.47	0.46	0.46	0.47	0.47	0.48	0.49	0.49	0.50	0.48	0.49		
(1999)	4.5	4.6	4.7	4.7	4.7	4.8	4.8	4.7	4.6	4.6	4.6	4.7	4.7	4.7		
平成12年	0.89	0.93	0.98	1.01	1.03	1.05	1.08	1.09	1.09	1.12	1.13	1.14	1.04	1.08	▼	
	0.51	0.52	0.54	0.56	0.56	0.58	0.60	0.61	0.62	0.64	0.65	0.65	0.59	0.62	第三次平成不況	
(2000)	4.7	4.9	4.9	4.8	4.6	4.7	4.7	4.6	4.7	4.7	4.7	4.8	4.7	4.7	(H12.11)	
平成13年	1.15	1.09	1.04	0.99	0.95	0.91	0.85	0.81	0.78	0.71	0.67	0.65	0.87	0.76		米国同時多発テロ事件(9月)
	0.65	0.64	0.63	0.62	0.61	0.61	0.60	0.58	0.57	0.54	0.52	0.51	0.59	0.56		
(2001)	4.8	4.7	4.8	4.8	4.9	5.0	5.0	5.1	5.3	5.3	5.4	5.4	5.0	5.2	▼	
平成14年	0.62	0.62	0.63	0.64	0.65	0.66	0.69	0.69	0.68	0.69	0.70	0.71	0.66	0.69	いざなみ景気(H14.1)	富士通大量人員整理(8月)
	0.50	0.51	0.52	0.52	0.53	0.53	0.54	0.55	0.55	0.56	0.56	0.57	0.54	0.56		
(2002)	5.2	5.3	5.3	5.3	5.4	5.5	5.4	5.5	5.4	5.4	5.2	5.4	5.4	5.4		
平成15年	0.71	0.71	0.71	0.68	0.68	0.68	0.69	0.71	0.73	0.80	0.79	0.80	0.72	0.75		イラク戦争勃発(3月)
	0.58	0.59	0.60	0.61	0.61	0.62	0.63	0.65	0.67	0.70	0.72	0.75	0.64	0.69		平成の大合併(4月)
(2003)	5.4	5.2	5.4	5.5	5.4	5.4	5.2	5.1	5.2	5.1	5.1	4.9	5.3	5.1		
平成16年	0.80	0.84	0.87	0.90	0.97	1.01	1.03	1.03	1.04	1.03	1.04	1.02	0.96	1.01		新千円札、五千円札、一万円札発行(11月)
	0.76	0.76	0.77	0.78	0.80	0.82	0.83	0.84	0.86	0.88	0.91	0.92	0.83	0.86		
(2004)	4.9	5.0	4.8	4.8	4.7	4.7	4.9	4.8	4.6	4.6	4.5	4.5	4.7	4.6		
平成17年	1.02	1.01	1.02	1.02	1.01	0.99	0.98	0.99	1.01	1.02	1.08	1.13	1.02	1.06		
	0.91	0.91	0.93	0.94	0.94	0.95	0.96	0.96	0.96	0.98	0.99	1.01	0.95	0.98		
(2005)	4.5	4.6	4.5	4.5	4.5	4.3	4.4	4.3	4.2	4.4	4.5	4.4	4.4	4.3		
平成18年	1.17	1.17	1.17	1.18	1.19	1.20	1.21	1.18	1.19	1.20	1.21	1.23	1.19	1.21		
	1.03	1.04	1.05	1.05	1.07	1.07	1.08	1.07	1.07	1.06	1.06	1.06	1.06	1.06		
(2006)	4.4	4.1	4.1	4.1	4.1	4.2	4.1	4.1	4.1	4.1	4.0	4.0	4.1	4.1		
平成19年	1.23	1.25	1.22	1.22	1.21	1.20	1.17	1.17	1.15	1.11	1.07	1.09	1.18	1.14		米国 ｻﾌﾟﾗｲﾑﾛｰﾝ問題表面化(8月)
	1.06	1.05	1.05	1.07	1.07	1.07	1.06	1.05	1.03	1.01	0.98	0.98	1.04	1.02		
(2007)	4.0	4.0	4.0	3.8	3.8	3.7	3.6	3.7	3.9	4.0	3.8	3.7	3.9	3.8		
平成20年	1.10	1.11	1.12	1.15	1.11	1.06	1.02	0.98	0.92	0.86	0.81	0.72	0.99	0.82	▼	米大手証券ﾘｰﾏﾝ・ﾌﾞﾗｻﾞｰｽﾞ破綻による金融危機(9月)
	0.97	0.96	0.96	0.96	0.95	0.92	0.89	0.86	0.83	0.79	0.75	0.71	0.88	0.77	リーマン不況	
(2008)	3.9	4.0	3.8	3.9	4.0	4.0	3.9	4.1	4.0	3.8	4.0	4.4	4.0	4.1	(H20.3)	
平成21年	0.60	0.51	0.46	0.43	0.40	0.40	0.39	0.39	0.40	0.42	0.44	0.45	0.44	0.43	▼	
	0.64	0.57	0.52	0.49	0.46	0.44	0.43	0.42	0.43	0.44	0.44	0.44	0.47	0.45	景気拡張期	
(2009)	4.3	4.6	4.8	5.0	5.1	5.2	5.5	5.4	5.4	5.2	5.2	5.2	5.1	5.2	(H21.3)	
平成22年	0.45	0.48	0.52	0.55	0.57	0.59	0.60	0.62	0.62	0.64	0.64	0.62	0.57	0.62		
	0.45	0.46	0.48	0.49	0.50	0.51	0.53	0.54	0.55	0.56	0.58	0.59	0.52	0.56		
(2010)	5.0	5.0	5.1	5.1	5.1	5.2	5.0	5.1	5.1	5.1	5.0	4.9	5.1	5.0		
平成23年	0.64	0.67	0.67	0.67	0.67	0.70	0.74	0.78	0.77	0.77	0.78	0.79	0.72	0.75		東日本大震災(3月)
	0.60	0.62	0.62	0.62	0.61	0.62	0.64	0.65	0.67	0.69	0.71	0.72	0.65	0.68		
(2011)	4.8	4.7	4.7	4.7	4.6	4.7	4.7	4.5	4.2	4.4	4.5	4.5	4.5	4.5	▼	
平成24年	0.80	0.80	0.81	0.82	0.82	0.81	0.80	0.80	0.82	0.82	0.82	0.83	0.81	0.82	景気後退期	
	0.74	0.75	0.77	0.78	0.79	0.80	0.81	0.82	0.81	0.82	0.82	0.83	0.80	0.82	(H24.3)	
(2012)	4.5	4.5	4.5	4.5	4.4	4.3	4.3	4.2	4.2	4.1	4.1	4.3	4.3	4.3	▼	
平成25年	0.82	0.83	0.83	0.83	0.84	0.86	0.87	0.89	0.90	0.92	0.94	0.98	0.87	0.92	景気拡張期	
	0.84	0.85	0.87	0.88	0.90	0.92	0.93	0.95	0.96	0.99	1.01	1.03	0.93	0.97	(H24.11)	
(2013)	4.2	4.3	4.1	4.1	4.1	3.9	3.8	4.1	3.9	4.0	3.9	3.7	4.0	3.9		
平成26年	1.01	1.03	1.05	1.07	1.07	1.09	1.11	1.11	1.13	1.14	1.15	1.17	1.09	1.14		消費税率8%に引き上げ(4月)
	1.04	1.06	1.07	1.08	1.09	1.09	1.10	1.10	1.10	1.11	1.12	1.14	1.09	1.11		
(2014)	3.7	3.6	3.7	3.6	3.6	3.7	3.7	3.5	3.5	3.6	3.4	3.4	3.6	3.5		
平成27年	1.22	1.23	1.23	1.23	1.24	1.24	1.27	1.26	1.27	1.28	1.28	1.28	1.25	1.28		
	1.15	1.16	1.16	1.16	1.18	1.19	1.20	1.22	1.23	1.24	1.26	1.27	1.20	1.23		
(2015)	3.6	3.5	3.4	3.4	3.3	3.4	3.3	3.4	3.4	3.2	3.3	3.3	3.4	3.3		
平成28年	1.33	1.32	1.34	1.38	1.42	1.41	1.40	1.43	1.45	1.46	1.49	1.52	1.41	1.46		
	1.29	1.30	1.31	1.33	1.35	1.36	1.36	1.38	1.38	1.40	1.41	1.42	1.36	1.39		
(2016)	3.2	3.3	3.2	3.2	3.2	3.1	3.0	3.1	3.0	3.0	3.0	3.0	3.1	3.0		
平成29年	1.52	1.53	1.52	1.53	1.55	1.58	1.61	1.62	1.65	1.68	1.68	1.67	1.60	1.63		
	1.43	1.45	1.45	1.48	1.49	1.50	1.51	1.52	1.53	1.55	1.56	1.58	1.50	1.54		
(2017)	3.0	2.9	2.8	2.8	3.0	2.8	2.8	2.8	2.8	2.7	2.7	2.7	2.8	2.7		
平成30年	1.68	1.66	1.68	1.69	1.69	1.71	1.72	1.73	1.72	1.70	1.68	1.67	1.69	1.69	▼	
	1.60	1.59	1.59	1.59	1.60	1.62	1.63	1.63	1.64	1.63	1.63	1.62	1.61	1.62	景気後退期	
(2018)	2.4	2.5	2.5	2.5	2.2	2.4	2.5	2.5	2.3	2.4	2.5	2.5	2.4	2.4	(H30.10)	
令和元年	1.63	1.63	1.62	1.66	1.68	1.66	1.63	1.61	1.59	1.56	1.51	1.47	1.60	1.55		消費税率10%に引き上げ(10月)
(平成31年)	1.63	1.63	1.63	1.63	1.62	1.61	1.60	1.60	1.59	1.59	1.57	1.56	1.60	1.56		
(2019)	2.5	2.4	2.5	2.4	2.3	2.3	2.3	2.3	2.4	2.4	2.3	2.2	2.4	2.3		
令和2年	1.43	1.41	1.36	1.29	1.14	1.05	1.01	1.01	1.02	1.05	1.09	1.15	1.16	1.12	▼	
	1.49	1.45	1.39	1.31	1.19	1.12	1.08	1.04	1.04	1.04	1.05	1.06	1.18	1.10		
(2020)	2.4	2.4	2.5	2.6	2.8	2.8	2.9	3.0	3.0	3.1	2.9	3.0	2.8	2.9		
令和3年	1.19	1.23	1.27	1.30	1.31	1.34	1.37	1.38	1.35	1.39	1.39	1.42	1.33	1.39		
	1.08	1.09	1.10	1.10	1.11	1.13	1.14	1.14	1.15	1.15	1.16	1.18	1.13	1.16		
(2021)	2.9	2.9	2.7	2.9	2.9	2.9	2.8	2.8	2.7	2.7	2.8	2.7	2.8	2.8		
令和4年	1.43	1.47	1.49	1.52	1.54	1.57	1.58	1.56	1.54	1.57	1.59	1.59	1.54	1.55		
	1.20	1.21	1.23	1.24	1.25	1.27	1.29	1.31	1.32	1.33	1.35	1.35	1.28	1.31		
(2022)	2.7	2.7	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.5	2.6	2.6	2.5	2.5	2.6	2.6		
令和5年	1.56	1.51	1.50	1.49	1.48	1.46	1.44	1.44	1.42	1.41	1.38	1.36	1.45			
	1.35	1.34	1.32	1.32	1.32	1.31	1.30	1.30	1.29	1.29	1.27	1.27	1.31			
(2023)	2.4	2.6	2.8	2.6	2.6	2.5	2.7	2.7	2.6	2.5	2.5	2.4	2.6			
令和6年	1.37	1.35														
	1.27	1.26														
(2024)	2.4															

(注) 1. 上段:長野県有効求人倍率(倍)、中段:全国有効求人倍率(倍)、下段:完全失業率(%)
2. 月別の数値は季節調整値であり、年・年度平均は実数である。
3. 季節調整法はセンサス局法Ⅱ(X-12-ARIMA)による。なお、令和5年12月以前の数値は新季節指数により改定されている。

都道府県別有効求人倍率：季節調整値

令和6年2月　全国平均1.26［原数値1.34倍］



（注）季節調整値計算（季節調整値替え）は、毎年過去1年分のデータが揃う年初に行われ、季節調整済系列が改定される。

（資料出所）厚生労働省「職業安定業務統計」